



新潟縣頸守
白山神社

献百 燈八 祭灯

ともに願いの灯りを
おまつりしましょう

自身の名前を記したろうそくに
清らかな火を灯すことで、
古くは百八つの煩惱を消し去り健やかに
過ごせるとされてきました。
神前からいただく御神火は火の靈力で
災いやけがれを浄火し、白山さまによる
明るい未来・幸福への導きを願う、
江戸時代より三百年以上続く神事です。

同時
開催



近くなりましたら、白山神社の公式Instagram又は
境内ポスターにてお知らせします。

MUSUBI 結灯

午後5:30開始予定

体験イベント(事前申込)
点灯イベント(当日参加)

令和6年

4月17日(水)午後6:00

当日は、白山会館受付へお越しください。

申し込み締切り 4月1日(月)

裏面も
ご覧ください



献燈祭参加申込みのお願い

百八灯祭は江戸時代より300年以上続く伝統ある神事です。

古くより、火は災いをはらい清め、ろうそくは暗闇を照らし夕宵の中で神事を行なうために欠かせないものでした。

春まつりで賑わう4月17日の夕宵、皆様のお名前を記し、願いを託した400余りのろうそくを神前に飾り、一斉に火を灯します。一年に一度だけ灯される御神火は厳かな神前を幻想的に照らし、商売繁昌・家内安全・心願成就・災厄消除をはじめ、皆様がりょうそくに託した様々な願いを白山さまに届けます。

幻想的な空間で神さまを身近に感じながら、災いや厄をはらい、心を込めて祈りましょう。

申込方法

本紙下部の申込書に必要事項をご記入の上、同封の返信用封筒又はFAXにてお申込みください。

ろうそくにはお名前を記入致します。準備の都合上、4月1日(月)までにお申込みください。

※当日ご参拝になれない方のろうそくには、代わりに巫女が火を灯させて頂きます。

※ろうそくは神事終了後お持ち帰り頂けます。祭典後ろうそくが必要な方は申込書の要の欄に○をお付けください。

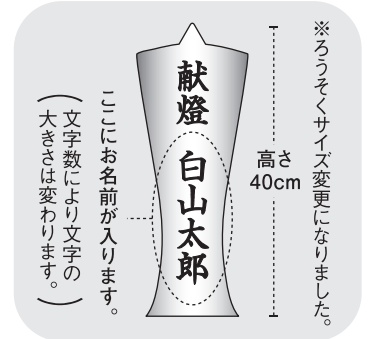
入金方法

1.現金にてご入金

事前に神社受付にてご入金又は祭典当日に受付にてご入金

2.振込用紙にてご入金

献燈料は 1. 一燈／6,000円 2. 一燈[直会(会食)付き]／8,000円 です。



当日の流れ

受付(白山会館) → おはらい(白山神社本殿) → ろうそくに火を灯します。 → 以上で百八灯献燈祭は終了となります。



白山会館にて受付を致します。その後お時間までロビーにてお待ち頂きます。

※百八灯献燈祭の所要時間は20～30分の予定です。

※直会のお時間は1時間ほどを予定しておりますが、ご自由にご散会頂いて結構です。



神主の案内後、白山神社本殿にておはらい(ご祈祷)を受けて頂きます。



神主が説明を致しますので、それぞれ御神火をご自分のろうそくに灯し、願いを託して頂きます。

※ろうそくをお持ち帰りになる方は、お近くの神主や巫女にお声掛けください。

なおらい直会(会食)付きの方

直会とは神事の後に神さまにお供えた同じものを戴くことで、さらにご利益を戴けます。神様とご縁が結ばれるとされております。

百八灯献燈祭 申込書

ふりがな			
住所			
ふりがな	TEL	()	
氏名			
ふりがな	ろうそくに書く名前	※申込の氏名と同じ場合は書かなくて結構です。	祭典後、ろうそくが必要な方は要に○印をお付けください。
			要

※ろうそくに書く名前は、ご芳名のみとさせていただきます。

献燈料 (1か2のいずれかに○印をお付けください。)
1. 一燈／6,000円 (燈分申込み)
2. 直会(会食)付き／8,000円 ※直会とは、神事後の会食の事です。
ご入金方法 (1か2のいずれかに○印をお付けください。)
1. 現金(事前・当日)
2. 振込(振込日 月 日頃)